



第3回藤井寺市病院跡地活用検討委員会資料

検討の進捗状況について

現況把握

- 藤井寺市の課題
- 市民・団体ニーズ
- 周辺地域・敷地条件の整理

基本的な考え方を確認

公共施設の再編や財政状況を踏まえながら、市民の安全・安心を確保し、市内の幅広い世代の方々の生活の質が向上し、コミュニティが生まれるような機能を集約する

■ 導入機能の方向性

医療機能、高齢者福祉機能、保育機能、コミュニティ機能、防災拠点機能、健康増進機能、収益機能、公園機能 など

導入可能性の検証

- 公共施設機能の導入可能性の検証
- 民間活力の導入可能性の検証

想定される導入機能の絞り込み

- 中心となる機能
 - ・ 保育（子ども・子育て）機能
 - ・ 多世代交流機能
 - ・ 健康増進機能
 - ・ 防災拠点機能
- （参考）その他に要望のあった追加的な機能
 - ・ 子育て支援機能
 - ・ 飲食提供機能
 - ・ 医療機能（小児科など）
 - ・ 福祉機能

第3回委員会で議論したいこと

- 中心となる機能の内容
- 行政と民間が担うべき役割・民間資源の活用
- 多世代交流機能のあり方
- 新たな施設のレイアウトイメージ（機能構成など）

第1回委員会

第2回委員会

機能の内容(案)について

■中心となる機能 ～運営形態を含め検討へ～

中心となる機能	具体的な機能	再編対象公共施設
保育（子ども・子育て）機能	認定こども園	近隣保育所・幼稚園の移転・再編
子ども・子育て支援機能	子育て支援（健康保健関連、屋内遊戯施設など）機能	保健センターの一部（詳細は調整中）
多世代交流機能	多世代交流（地域コミュニティ）センター（図書コーナー、情報発信コーナーなど含む）	老人福祉センター（松水苑）の移転・多世代化
健康保健・健康増進機能	機能回復訓練、健康保健関連、相談窓口等	老人福祉センターの移転 保健センターの一部（詳細は調整中）
防災拠点機能	水害時における地域の指定緊急避難場所としての活用、備蓄倉庫など	

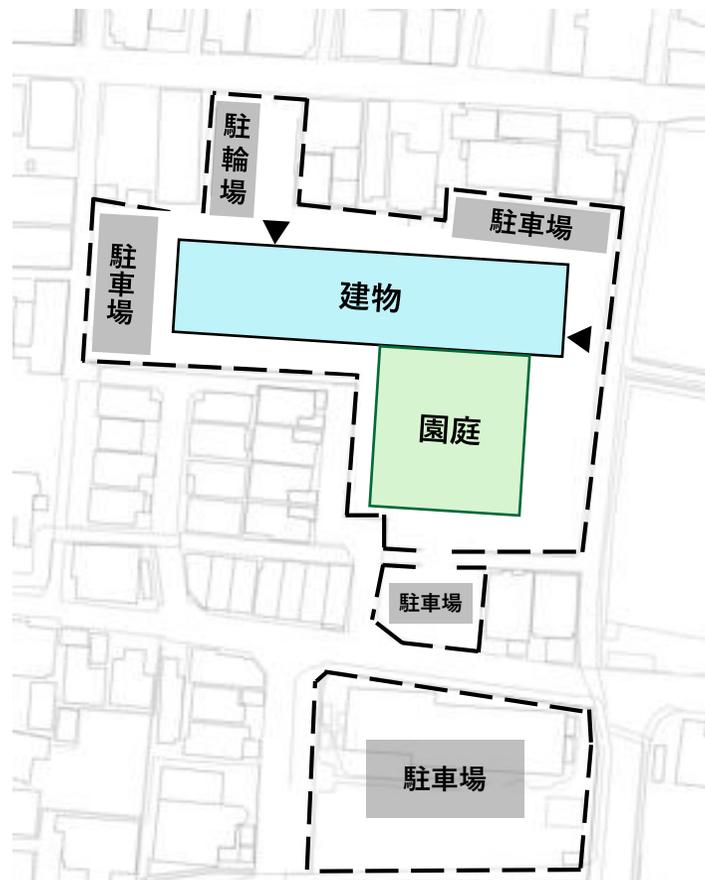
■その他に要望のあった追加的な機能

追加的な機能	内容
子育て支援機能	民間からの提案を求め、新たな施設の機能の充実・向上がなされるよう民間活力の導入手法や運営のあり方なども含め検討
飲食提供機能	
医療機能(小児科など)	
福祉機能	

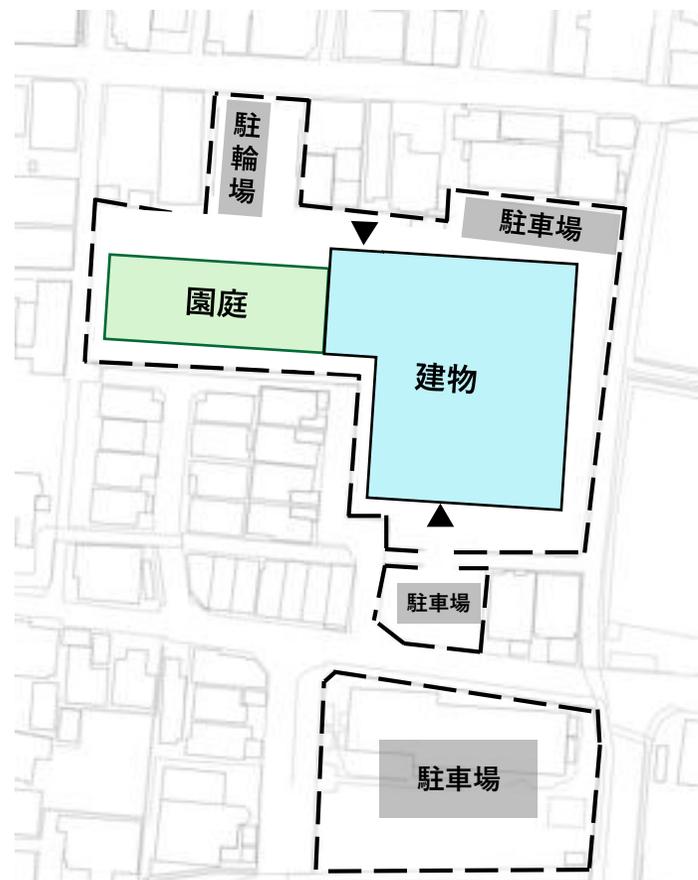
建物の配置(案)について

※現在の機能案をイメージしやすいよう仮配置図として落とし込んだもの

■パターン1

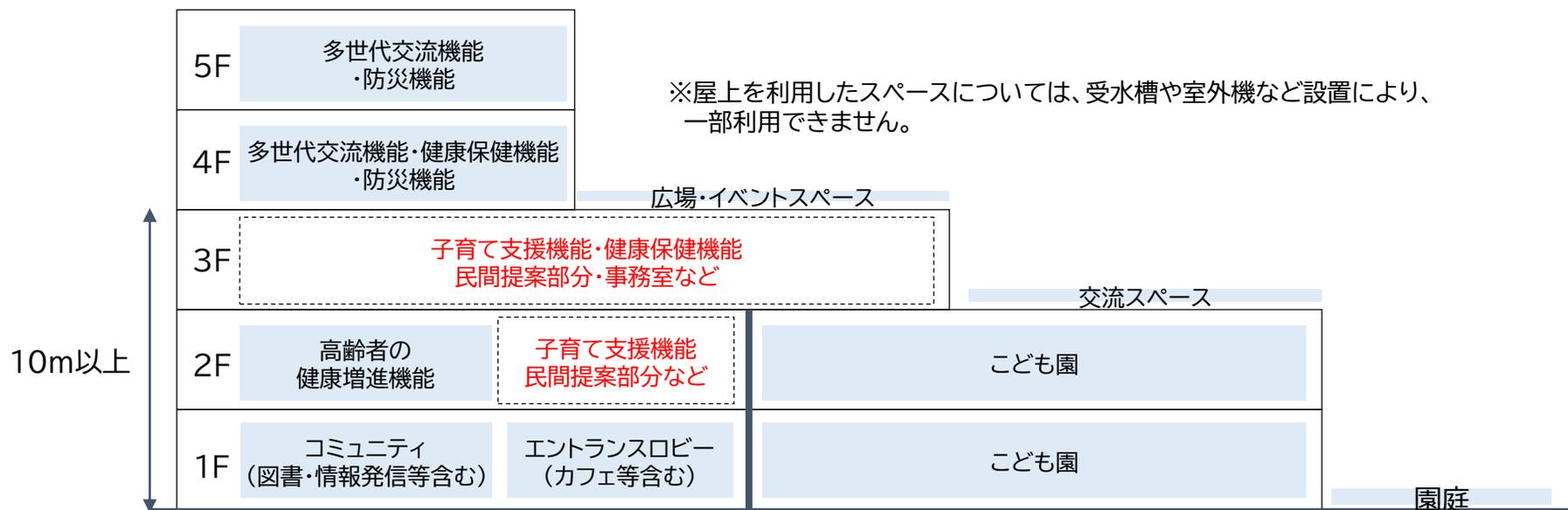


■パターン2



レイアウト(案)について

※現在の機能案をイメージしやすいよう仮レイアウトとして落とし込んだもの



- 1Fの入口はこども園専用の入口も設置する。
- 1Fのコミュニティスペースやエントランスには図書スペースやカフェ等を設け、市民が気軽に集える場所とする。
- 2Fは、現状の老人福祉センターの機能を踏まえた健康増進機能をはじめ、こども園との親和性の高い子育て支援機能などとする。
- 3Fの民間活力の導入施設については、子育て・福祉サービスなどをはじめとした公益性の高い機能が望ましい。
※委員会意見として「1事業者が一括して活用することが機能面・運営面においても理想的」
- 4F・5Fは多世代交流としながら、広場・イベントスペースとあわせて災害時の避難等に活用できるようにする。
- 各機能の週休日に応じた配置を検討する必要がある。
- 医師公舎については、特段の用途がない限り、売却し事業経費に充てる。

(参考)多世代交流施設事例①

旭市多世代交流施設おひさまテラス

施設概要

施設概要・特徴	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで多世代が集い、支え合い、共に育むことを目的とした交流コミュニティ施設である。 読書、遊び、ものづくり、音楽、仕事、食事など利用者が自由に過ごせる設計となっている。 	
所在地	・千葉県旭市イオンタウン旭2階	
オープン時期	・2022年4月	
施設機能	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックスペース (地域交流スペース) ・屋内公園 ・約6,000冊のライブラリー ・ものづくりスペース ・音楽スタジオ ・コワーキングスペース ・カフェ ・一児保育・託児スペース 	
対象者	・すべてのひと	
面積	敷地面積	・不明
	延床面積	・約2,200㎡
事業手法	・公設民営(イオンタウン株式会社が指定管理)	

施設イメージ

子どもが遊ぶ横で高齢者が読書をしたり、親子や学生が同じ空間で過ごすことができ世代や目的を超えた、多世代の自然な交流が日常的に生まれている。



約6千冊の本が並ぶ本棚があり、子どもから大人まで読書を楽しめる。



屋内公園ではすべり台やトンネル等の遊具で児童が元気に遊べる。



親子で会話や読書を通じてふれあいができる。



(参考)多世代交流施設事例②

深川えんみち

施設概要

施設概要・特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者デイサービス、学童保育クラブ、子育てひろばを一体化した多世代共生型の複合福祉施設である。 ・地域交流スペースであるまちキッチンは、平日日中はデイサービスの高齢者が利用しているが、午後になると児童が高齢者に交じり宿題をする多世代の交流がある。
所在地		・東京都江東区深川
オープン時期		・2024年5月
施設機能		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者デイサービス(一般型・認知症型) ・私設図書館 ・まちキッチン(地域交流スペース) ・学童保育クラブ(定員130名超) ・子育てひろば ・共有スペース
対象者		・高齢者、小学生、乳幼児・保護者、地域住民
面積	敷地面積	・499.14㎡
	延床面積	・606.35㎡
事業手法		・民設民営(社会福祉法人聖救世主福祉会、NPO法人地域で育つ元気な子)

施設イメージ

1階に高齢者デイサービス、2階に子育てひろばと学童保育クラブが入り、1階にはまちキッチンとしての地域交流スペースが設けられ、児童、高齢者、地域の方が交流するスペースが設置されている。2階の学童保育に通う児童達が1階の高齢者の方や地域の方と、自然に交流が生まれるような動線の工夫がされている。

まちキッチン(地域交流スペース)



まちキッチンでは、デイサービスの高齢者に交じり、学童保育の児童が宿題を行い、私設図書館で借りた本を地域の方が読み、多世代の交流が行われている。

デイサービスの横を通り
児童が通学する様子



入口は道に面して、私設図書館やまちキッチン、デイサービスのテーブルスペースがあり、2階の学童保育に通う児童と、デイサービスの高齢者が触れ合う動線となっている。

フロア



2F



(参考)多世代交流施設事例③

北上市保健・子育て支援複合施設hoKko(ほっこ)

施設概要

施設概要・特徴		・健診専用の設備、子どもの遊び場などの子育て世代をサポートする環境を用意しているほか、多世代が集える空間として、ホールやレンタルキッチンも備えている。
所在地		・岩手県北上市
オープン時期		・2021年4月
施設機能		<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流プラザ ・地域子育て支援拠点施設 ・屋内遊び場 ・一時保育室 ・検診ルーム ・栄養指導室 ・オフィス
対象者		・すべてのひと
面積	敷地面積	・3886.62㎡ (商業施設1・2階を取得し、複合施設としてコンバージョン)
	延床面積	・3892.70㎡
事業手法		・公設公営

施設イメージ

1階の館内中央に検診車駐車場のための天井の高い広場を確保し、加えて2階の床の一部を抜いて吹き抜けとしている。その空間のまわりに市民交流プラザ、健診ホール、子育て支援センター、栄養指導室などを配置。2階はロビーを中央に屋内遊び場、乳幼児健診室、事務室などで構成。



検診時には検診車を停車し、実施。まちの広場として地域の祭りやマルシェのイベント会場としても利用できる。

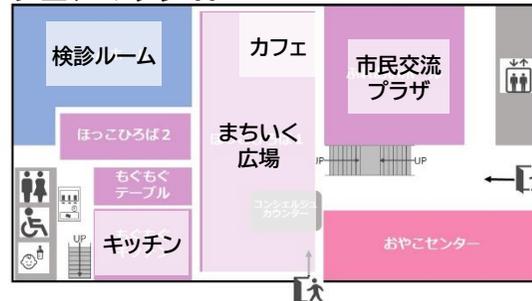


乳幼児健診後のお母さんたちと子供たちが一緒に過ごせるキッズスペースや交流スペースが遊び場と連続している。

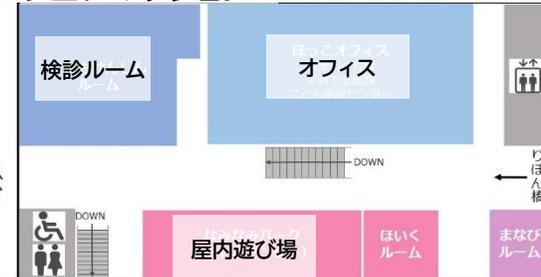


検診が行われていない日は、ヨガやエクササイズなど健康づくりの拠点として活用。

フロアマップ1F



フロアマップ2F



(参考)多世代交流施設事例④

桑名福祉ヴィレッジ

施設概要

施設概要・特徴	・子どもから高齢者までが一緒に過ごすことができる多世代共生型施設である。	
所在地	・三重県桑名市	
オープン時期	・2022年4月	
施設機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィレッジセンター(地域交流施設) ・保育所 ・養護老人ホーム ・母子生活支援施設 ・児童発達支援事業所 ・相談支援センター ・ケアプランセンター ・食品・雑貨販売 	
対象者	・すべてのひと	
面積	敷地面積	・19,499㎡
	延床面積	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代共生施設/5,810㎡ ・ヴィレッジセンター/延床面積:384㎡ ・らいむショップ/延床面積:72㎡ ・公園面積:10,071㎡
事業手法	・民間提案・公民連携方式(桑名市社会福祉協議会・大和リース株式会社)	

施設イメージ

地域交流施設であるヴィレッジセンターは、地域住民や高齢者、子ども達、学生などが自由に利用できるスペースであり、昼間は地域の人々、夕方には学校帰りの学生や児童が勉強や遊びの場として利用しており、多世代の会話やふれあいがあふれている。



自治会や民生委員などの地域交流の場や地域のサークル活動の場として利用される。



大・小2つの会議室があり、予約制で誰でも利用できる。



学生・児童も勉強や遊びに利用している。